## 平成23年度事業シート(概要説明書)( 平成22年度実施事業)

	事務事業	名	八雲	町児童交流	事業						担	当部	教育委	<b>委員会事務局</b>
	会計区分	ή	一般	会計			事業	類型	_	般	担	当課	庶務詞	果
	事業期間	間	平	成12年度り	前	~	平	成30年	干度り	降	担	当係	庶務	系
		主目的	4	教育文化		16 学校	教育		4	調和σ	とれた	:人間形	が成づく	りを支援する
	分野別計画	副目的												
	予算区分	ή ή	款	10	項	1	目	3	3	大	1	0	中	1
	根拠法令·個別	引計画												
	<u> </u>	.,,		市が直接実	E施·道	<b>運営</b>		地域的	主民組	]織		一部	又は全	部委託
事	実施·運営 方法			指定管理:	外郭区	団体	名称							
				N P O・その他 名称:										
業の				市と歴史的1 のひとつとす		りの深い八	雲町り	見童と(	の交流	学習	を通じ	、学童	期の詞	貴重な体験
概要	内容 (手段)		名設事を事連ている。	の宿泊1泊、 では民泊2개 施している。 同は、選考3 調整を行う。	際の対	参加児童は 注音を 注音を 注字を を 注字を 注字を 注字を 注字を できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。	36名 の5泊 ター2 会、学 5年生	であった 6日間 泊の4 泊の4 音 音 音 音 号 音 号 音 号 の も う き 音 の も う き き う り う り う り う り う も う も う も う も う も う も	た。派 で体駅 泊5日 等の開 集対象	遣事賞 学習 間に組 催、学	業は洋 活動を 郡土の や校、引	上セミ 中心 紹介を 出率教 官員を	ナー 2 としてい をするが 諭、ハ 満たす	泊、公的施 ハる。受入 などの活動 雲町との
	受益者負	.担	有	内容	(フェ	6 5 0 円 リー代7,300 R泊先手土 <u>i</u>			9,150	円、冬	の交流	統会保	護者的	拿事代1,200

				単位	H21決算額	H22決算額	H23予算額	
		直接	経費	千円	2,797	3,807	4,948	
		正職員	従事者数	人	0.40	0.40	0.40	
П		止唨貝	人件費	千円	2,146	2,146	2,146	
	費用	スの仏聯号	スの仏座号	従事者数	人	0.00	0.00	0.00
ス		その他職員	人件費	千円	0	0	0	
		費用	費用合計		4,943	5,953	7,094	
۲		対前	年比	%		120.4		
		一般	財源	千円	4,943	5,953	7,094	
	財国	国·県	国·県支出金		0	0	0	
		その他	也財源	千円	0	0	0	

		活動指標名	単位		H21	H22	H23
		事前(後)学習会		目標	12	12	12
	活	尹則(後)子自云	П	実績	12	12	
SIL	活動指標	八雲町派遣事業		目標	6	6	6
業	標	八芸叫派追事来	П	実績	6	6	
		八雲町受入事業		目標	5	5	5
		八云門文八字未	I	実績	5	5	
績		成果指標名	単位		H21	H22	H23
	成	本市の参加児童数	人	目標	40	40	32
	成果指標	本刊の参加元皇奴		実績	40	36	
	標	八雲町からの受入児童数	人	目標	20	20	
		八芸門がつい支八元里奴		実績	23	18	

	事業目的の 達成状況	児童学習交流期間がより有意義で効果的になるよう、夏季・冬季のいずれも事前学習会を行い、本事業の成功をおさめた。交流会後の報告書では、小牧市・八雲町児童ともに、いい経験ができたことを綴っている。						
事業の自己評価	事業を廃止・ 休止したとき の影響		1う貴重な時期に経験できる体験学習の	機会が失われてしまう。				
価	判 定	B ī	市が実施(改善が必要)					
(一次評価)	判定理由		をまねき、事業の実施に影響を与えてい と判断される。	るため、次年度以降見直していく				
	今後の事業 の方向性 (今後の取組 み・改善計画 等)		の見直しを含め、事業の内容も見直し、ノ 事業が継続できるよう、改善してい〈必弘					

-	判	定	В	市が実施(改善が必要)	
次評価	判定	理由	一次評価の	つとおり	